

コーポレートガバナンス

事業活動の透明性を高めるため、積極的な対応と開示を心がけています。

■ コーポレートガバナンス基本方針

当社は、お客様をはじめ、従業員、株主・投資家、社会から「存在を期待される企業」となるために、社会的責任を有する企業として、経営の重要性を認識し、透明・迅速・公正、果敢かつリスクを勘案した意思決定を確保する組織・仕組みを整備し、全てのステークホルダーとの信頼関係を構築していくことが、経営の最重要課題の一つとして認識しております。

より実効性の高いコーポレートガバナンスの実践と、継続的な改善の取り組みにより、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

▶コーポレートガバナンス基本方針はこちら

URL http://www.g-tekt.jp/company/pdf/governance_guideline.pdf

■ コーポレートガバナンス・コード

「攻めのガバナンス」の実現を目指して策定されたコーポレートガバナンス・コードに対しましては、その趣旨を踏まえ、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けて、当社の経営に最も効果的なガバナンス体制を構築するため、当社のコーポレートガバナンスに関する基本的な考え方、枠組み、運営方針を示す「G-TEKTコーポレートガバナンス基本方針」を取締役に於いて決議し、コーポレートガバナンス報告書にて開示しております。

▶コーポレートガバナンス報告書はこちら

URL http://www.g-tekt.jp/company/pdf/governance_report.pdf



「コーポレート・ガバナンス報告書」

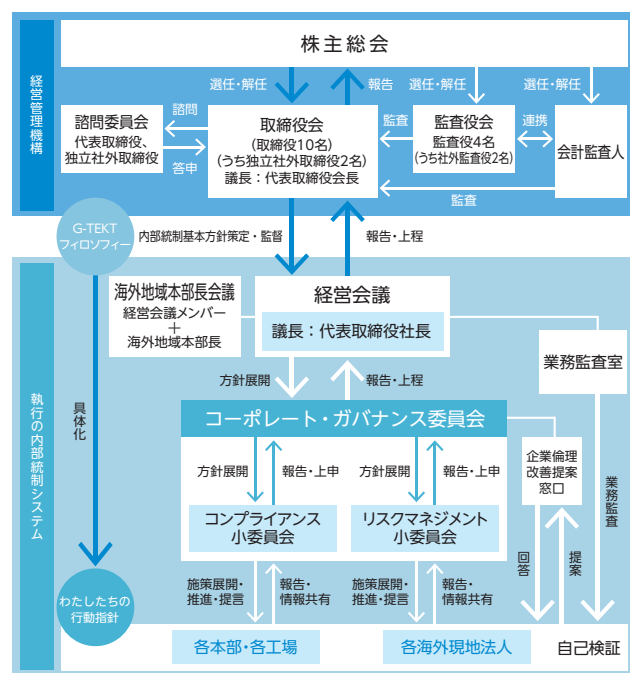


「わたしたちの行動指針」

■ コーポレートガバナンス体制

内部統制システムを含むコーポレートガバナンス体制は次の図のようになります。

■ コーポレートガバナンス体制図



■ コンプライアンス

遵法精神の高い企業であるため、全ての法律および社内規程等を遵守し、社会規範として常に誠実な行動をとるように心がけています。コンプライアンスをステークホルダーの期待に応えるという視点でとらえ、従業員一人ひとりが高い倫理観を持って行動するための指針として「わたしたちの行動指針」を作成し、従業員に周知徹底しています。コンプライアンスの浸透・定着のための推進活動をはじめ、不祥事の未然防止や早期対応、コンプライアンス徹底に向けた継続的改善を行い、一層の定着を図っていきます。

◀ リスクマネジメント

事業活動を健全に遂行していくため、経営を取り巻くさまざまなリスクを把握・分析し、適切なリスクコントロールに努めています。当社の事業運営上のリスクは多様化し、その管理の難易度は高くなっていますが、リスク状況の適切なモニタリングの確保やリスク管理に関する横断的な課題対応ならびに水平展開を目的としたリスクマネジメ

ント小委員会をコーポレート・ガバナンス委員会の下に設置し、リスクマネジメント活動を推進しています。

直近では、地震などの大規模災害を想定し国内各工場ごとに、それぞれBCP(事業継続計画)を策定するなど、万が一の場合でも迅速な復旧が図れるよう準備しております。

◀ 株主・投資家とのコミュニケーション



株主様向け工場見学会の様子

株主・投資家への情報公開については、迅速・公平をモットーに日々の開示業務・IR活動を行っています。

また、株主・投資家の皆様に対して、ジーテクトという企業に対する理解を深めていただくためには、積極的にコミュニケーションをとることが重要であると考え、株主総会における株主懇談会や、機関投資家向け決算説明会・個別IR訪問のほか、個人投資家向け会社説明会・株主様向け工場見学会などを開催して、経営者自らが株主・投資家と対話する機会を設けています。

そのほか、当社ホームページのタイムリーな更新や、株主通信の発行などを通じて、株主・投資家の皆様にジーテクトの事業活動に対する理解を更に深めていただくと共に、株主アンケートの実施や株価情報などによって得られる当社の評価に目を向け、あるべき企業の姿を目指しています。



IRサイト



株主通信

◀ 特定したマテリアリティ「コーポレートガバナンスの強化」対応

世界中に拠点を展開している当社にとって、一つの拠点でもガバナンス体制が崩れてしまえば、ジーテクトグループ全体としての健全なガバナンス体制は成り立ち得ません。そこで当社では、チェックリストを用いるなどして定期的に各海外拠点のガバナンスの状況を確認すると共に、本社と現地とで随時情報交換を行うことで課題の共有や改善施策の検討を行い、ジーテクトグループ全体のガバナンスレベルの維持向上を図っています。